

読書ノートテンプレート | Detailed

読書記録を「保存」で終わらせず、AIで再構成し再利用する4ページPDF。Goodnotesには文書として読み込んで使います。

1 / 4

BOOK PROFILE

書名／著者／読了日／ジャンル／読むきっかけ

WHY | この本から何を得たいか

読む前の問い・困りごと・知りたいこと。読後に答えが変わってもOK。

BEFORE / AFTER | 読む前と読んだ後で変わったこと

理解・判断・やり方・気になったテーマなど。

ONE SENTENCE | 今の自分に残った一文

本全体の要約ではなく「この本を読み終えた今、何を持ち帰るか」。

STEP 2 | 重要箇所を残す

引用コレクションではなく、後から考え直せる情報を残す。

2 / 4

A | 印象に残った箇所

ページ／章＋内容＋なぜ引かなかったか

B | 重要だと思った箇所

「知識として重要」「自分に必要」など理由を区別してもよい。

C | 反対意見・違和感・疑問

納得できないところも、AIに考察させる良い材料になる。

D | 他の本・経験・仕事とつながる箇所

「以前読んだ〇〇と同じ」「この場面で使える」などリンクを残す。

STEP 3 | 考察を深める

自分の考察を先に置き、その後にChatGPT / Geminiで視点を増やす。

3 / 4

MY THOUGHTS | 自分の考察

正解を書く欄ではなく「私はどう理解したか」「何と結びついたか」。

AI QUESTIONS | AIに投げたい問い

例：別の立場から反論して／関連概念を整理して／この考えを実践例に変換して／見落としを指摘して

REFINED THOUGHTS | AIとの対話後に残った考察

AIの出力をコピーするのではなく「採用する視点／採用しない視点／新しく生まれた問い」を自分の言葉で。

STEP 4 | 知識を再利用する

PDF化 → Gemini Notebook → Notion / Obsidian → 次のアウトプットへ。

4 / 4

1

読書記録

PDF化

2

Gemini Notebook

資料化・視覚化

3

Notion / Obsidian

保存・接続

4

OUTPUT

記事・資料・実践

GEMINI NOTEBOOKへ渡すときのメモ

このPDFから「重要概念の関係を図に」「スライドで復習できる形に」「別の本との共通点・相違点を整理」など、目的を指定する。

NOTION / OBSIDIANで残すリンク

テーマ／関連本／プロジェクト／使った資料PDF／生成スライドPDFなど、後で辿れる単位で接続。

NEXT OUTPUT | この記録を何に変える？

記事／勉強会資料／仕事のメモ／実践アイデア／次に読む本／Obsidianの関連ノート
